

Villages of Valeriaルール日本語抄訳

2017.08.07

The Game Gallery HAL99

プレイ人数：1 - 5人

プレイ時間：45分程度

概要：

誰かが**規定数の家とアドベンチャーを獲得**した時点でゲームが終了となる。その時点で最も得点を多く持っていたプレイヤーが勝者となる。

セットアップ

- 各プレイヤーにキャッスルカード1枚とプレイエイドカード1枚を配る。未使用で残ったキャッスルカードとプレイエイドカードは箱に戻す。
- 各プレイヤーは受け取ったキャッスルカードを表面にして、自分の前におく。そのカードが自分の最初の村となる。
- スタートプレイヤーを任意に決定して、スタートプレイヤーマーカーを渡す。
- プレイ人数に応じたコインをバンクに用意して、各プレイヤーにはバンクから3金を渡す。
 - 2人：14金、3人：20金、4人：25金、5人：30金
- 残ったカードをアドベンチャーと建物に分けて、それぞれシャッフルして山札にする。
- 建物カードを6枚各プレイヤーに渡す。渡された建物カードは各プレイヤーの手札となる。
- 建物カードをとアドベンチャーカードの山札をテーブル中央に縦に並べ（P4参照）、それぞれの山札から5枚を捲って横に並べておく。
- スタートプレイヤーから順に、各プレイヤーは、受け取った建物カードから任意の1枚を選択して自分のキャッスルカードの上に建物カードをリソースが出る面を上方向にして差し込んでゆく。キャッスルカードの下に差し込んだカードは、リソースカードと呼ぶ（建物ではなくなる）

※セットアップが終了してると、各プレイヤーは以下のものを受け取っているはず

- キャッスルカード1枚とプレイヤーエイドカード1枚
- 建物カード5枚（手札）、建物カードの1枚はキャッスルカードの下に差し込んでリソースになっている
- 3コイン

プレイシーケンス

スタートプレイヤーからゲーム終了条件を満たすまで手番を続ける。

手番が来たプレイヤーは以下の順で処理を行う。

1. 補充
2. アクション実施

以下に詳細に記す

1.補充

- ・自分のリソースカード上に置いてあるコインを全て回収して手元に戻す。

2.アクション実施

5種類のアクションから1つを選択して実行する。

- ・収穫
- ・開発
- ・建築
- ・雇用
- ・徴税

この5種類。全てのアクションは手番プレイヤーが実施すると時計回りに他のプレイヤーも、同じアクションのフォローアクション（プエルトリコ風味）を実施する。

※このゲームは手札枚数上限が8枚のため、アクション終了時（手番でもフォローアクション時でも）に8枚以下にする必要がある点に注意

※捨て札とカード補充について。このゲームでは捨て札になるのは建物カードだけのはずなのだが（基本では）、捨て札にする建物カードは、場に表向きにして捨てる。捨てる場所は5枚最初にオープンしている建物カードの場所におく。5箇所あるのでいずれかの場所におく。既にカードがある場合には、重ねておく。5箇所のいずれかの場所のカードが無くなったら、山札から直ちに補充して常に5枚あるようにしておく。

※アクションのコストを支払えない時などは、特定のアクションを実行したことによる効果も得られない（アクションを実行してないから）

※バンクのコインは有限なので、バンクに無いときはそれ以上受け取れない

・収穫

手番アクション：

建物カードを3枚引いて手札に入れる。建物カードは、5枚オープンされているものでもいいし、山札からでもいい。1枚ずつ引く場所は選択できる。

フォローアクション：

建物カードを1枚引いて手札に入れる。

・開発

手番アクション：

建物カードを1枚捨て札にして、残った手札から任意の1枚をリソースカードとして自分のキャッスルカードの下に追加する。

フォローアクション：

建物カードを2枚捨て札にして、残った手札から任意の1枚をリソースカードとして自分のキャッスルカードの下に追加する。

・建築

手番アクション：

手札から建物カードを1枚だして、キャッスルカードの横に建築する。建築時は、出したカードに書かれているリソース分を、リソースカードの上にコインを置くことで充当する。キャッスルカードは任意の種類のリソースを1個充当することができる。他プレイヤーのリソースカードにコインを支払って充当してもよい（コインは相手プレイヤーのものとなる）。他プレイヤーのキャッスルカードにコインを置くことは出来ない

建物カードを建築後に、建物カードを1枚引いて手札に入れる。

注意点

- ・同一プレイヤーが同じ建物カードを複数建築することは出来ない
- ・既にコインが置かれているリソースに追加でコインを置いてリソースを充当することは出来ない
- ・リソースの充当はカードの特殊効果によってもできる場合もある

フォローアクション：

手番アクションとほぼ。違いは、建築後の建物カードを引く効果が無い点のみ。

・雇用

手番アクション：

バンクに1コインを支払い、アドベンチャーを1人雇用する（雇用したら直ちに補充する）。雇用するには、雇用したいアドベンチャーに指定されているアイコンに等しい数と種類の建物が建築済である必要がある

フォローアクション：

バンクに2コインを支払い、あとは手番アクションと同じ

・徴税

手番アクション：

バンクから1コインを受け取り、建物カードを1枚引いて手札に入れる。

フォローアクション：

建物カードを1枚引いて手札に入れる。

ゲーム終了条件：

いずれかのプレイヤーが手番アクション、フォローアクションで入手した建物とアドベンチャーカードの合計数が、規定枚数に達した場合に、ゲーム終了となる（フォローアクションは全員行ってから終了する）。

2～3人：12枚、4～5人：10枚

※上記の枚数は、建物カードとアドベンチャーカードの合計。アドベンチャーが0枚で建物カードが規定枚数に達した場合でもゲーム終了となる

得点計算：

各プレイヤーが建築したり雇用したカードの得点（紫色のアイコン内の数字）と特殊効果、1コインを1VPとして合計し最も合計が多いプレイヤーが勝利する（コインはリソースカードの上に配置されていても計算対象とする）。

同点ならば、最も置くの建物・アドベンチャーの合計枚数を配置したプレイヤーが勝利する。

補足：

各カードの特殊効果は、赤い稲妻のアイコンは「建築・雇用」時に直ちに効果を発揮し、以後なんの効果もない、を意味している。それ以外は特定の条件で発動する効果となっている。

以上

履歴：

2017.08.05

初版リリース

2017.08.07

終了条件が建物だけになっていた誤訳を修正